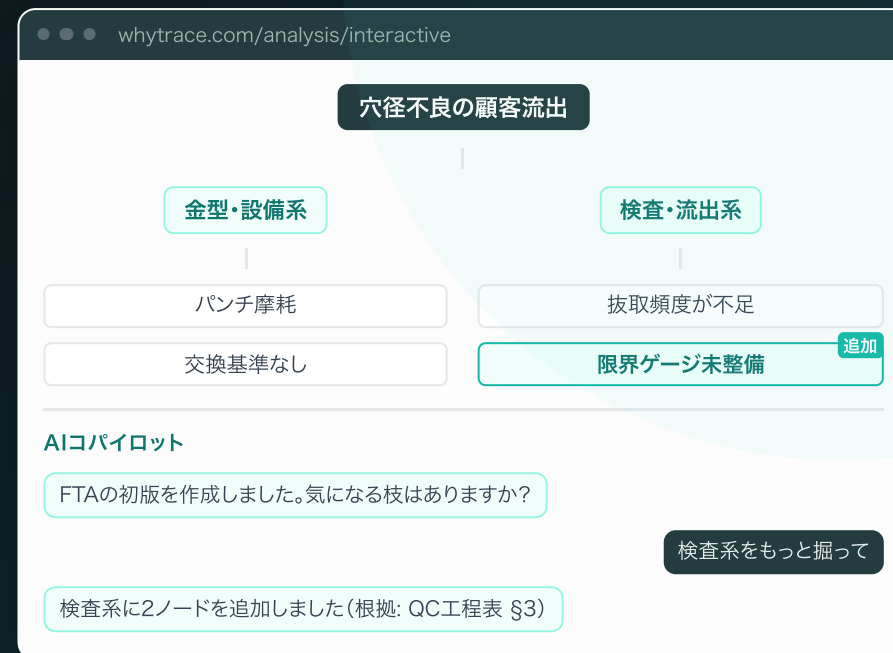


現場の「なぜ？」を、 AIと話すだけで 根本原因まで。

話しかけるだけで分析図がその場で育つ。社内資料を根拠にAIが原因を深掘りし、8D・是正処置報告書までワンクリックで出力します。



7種

対応フレームワーク

1クリック

8D帳票を出力

¥0

から開始(カード不要)

WhyTrace Plus

対話型 原因分析・是正処置プラットフォーム

whytrace.com

GenbaCompass シリーズ

紙とExcel、そして「書ける人」への依存

01 原因分析は、いつも誰か一人に重くなります。

報告が紙まかせ

手書きフォームは紛失し、転記は遅い。分析がインシデントの数週間後になり、記憶も現場も既に変わっています。

情報が分散

品質・安全のデータが Excel・メール・キャビネットに散在。同じ不具合が二度目だと気づけません。

後追いの対応

手元に示唆がないため、予防ではなく発生後の火消しに追われます。

担当者ひとりに重い

なぜなぜを書ける人が限られ、対策書の清書に半日。再発防止の質が属人化します。

同じ1件が、こう変わります

現状
紙とExcel

紙のフォームに記入
現場

回収して事務所へ
数日

Excelに転記
担当者

書ける人が分析
数週間後

対策書を清書
半日

ファイルに綴じる
二度は見ない

導入後
WhyTrace
Plus

QRを読んで報告
30秒・現場から

AIと対話して分析
その場で図になる

8D帳票を出力
1クリック

ナレッジに蓄積
次の1件で引き当たる

減るのは工程の数だけではありません。「書ける人を待つ時間」と「清書の半日」が消えます。紙の回収と転記が無くなるので、報告した本人の記憶が新しいうちに分析へ入れます。

WhyTrace Plus が変えるのは「書く人」の負荷です。分析の枠組みと文章の骨格をAIが用意し、担当者は現場の事実を確かめる側に回ります。出来上がった分析は、そのまま提出用の帳票になります。

話しかけるだけで、分析図がその場で育つ

02 「設備系をもっと掘って」——その一言でAIが発生／流出の2系統を書き換えます。

対話

指示は日本語のまま

枝の追加・削除・言い換えを会話で指示します。作法を知らない担当者でもAIが枠組みを埋めます。

2系統

発生と流出を分けて掘る

「なぜ起きたか」と「なぜ出荷されたか」を別系統で展開。顧客提出の是正処置で必ず問われる分け方です。

FTA

なぜなぜ／FTAの両方

縦に掘るなぜなぜ分析と、論理ゲートで分けるFTAを切り替えられます。同じ事象を別の見方で確認できます。

分析中の画面(イメージ)



この画面でできること

- **AIが初版を作る。**事象を1行書けば、発生／流出の骨格が返ります。白紙から始めません。
- **枝ごとに掘り下げを指示。**浅い枝だけを指定して深掘りできます。全体を作り直しません。
- **根拠が本文に残る。**社内資料を取り込んでおくと、AIが出典付きで引用します(次ページ)。
- **フレームワークを当てる。**4M・5M1E・SHELL など7種の観点で、抜けている要因を洗い出せます。
- **そのまま帳票へ。**完成した分析から8D形式のExcelを出力します(P5)。

AIの出力は下書きです。事実確認と最終判断は必ず担当者が行ってください。現場の事実を代わりに確かめることはできません。

社内資料を根拠にする — 出典付きで引用

03 技術標準や過去のトラブル報告を取り込むと、分析するほどナレッジが貯まります。

STEP 1

取り込む

QC工程表、作業標準、過去のトラブル報告、議事録などをアップロードします。

STEP 2

引き当てる

分析中、AIが関連する箇所を自動で探します。ベクトル検索なので語句が一致しなくても届きます。

STEP 3

出典を残す

「根拠: QC工程表 §3」のように、どの資料の何を見たかが分析本文に残ります。

STEP 4

次の分析で効く

完了した分析自体もナレッジになります。二度目の不具合で過去の対策が引き当たります。

なぜ「出典付き」が要るのか

- **審査で問われるのは根拠です。**「AIがそう言った」は通りません。どの標準の何条を見たかが必要です。
- **間違いを見つけられます。**出典が書かれていれば、担当者はその1箇所だけ確かめれば足ります。
- **引き継げます。**担当者が変わっても、なぜその原因に至ったかが文書に残っています。

ナレッジとして貯まるもの

- アップロードした社内資料(章・節の単位で検索されます)
- 完了した分析と、そこで特定された根本原因
- 実施した是正処置と、その効果確認の記録
- 水平展開の判断(どのラインまで広げたか)

使うほど効きます。最初の1件は白紙に近くても、10件貯まると「似た事象が過去にあったか」から始められます。

分析本文での見え方(イメージ)

なぜ 3 / 根本原因

パンチの交換基準が定められていない

根拠 金型管理標準 §2.1 / 摩耗限度および交換時期の規定なし

出典を開く

根拠 日常点検表 2026年版 / 摩耗量を記録する欄が存在しない

出典を開く

「AIがそう言った」は根拠になりません。引用元の資料名と箇所が本文に残るので、担当者はその1箇所だけを確認すれば足ります。

分析が終われば、報告書も終わっている

04 顧客への対策書、ISO・IATF審査の是正処置。体裁を整える半日仕事を1クリックにしました。

D1 チーム編成 分析の参加者から転記	D2 問題の記述 事象・発生日・影響範囲	D3 暫定的な封じ込め 応急処置と対象ロット	D4 根本原因 発生／流出のなぜなぜを転記
D5 是正処置の選定 対策・担当者・期限	D6 効果の確認 記入用に空欄で出力	D7 水平展開・標準化 展開先と標準改訂	D8 チームの承認 記入用に空欄で出力

出力される Excel 帳票(D4 根本原因の抜粋・イメージ)

系統	なぜ 1	なぜ 2	なぜ 3(根本原因)
発生	穴径が公差上限を超えた	パンチが摩耗していた	交換基準が定められていない
発生	摩耗に気づけなかった	摩耗量を記録していない	点検表に摩耗量の欄がない
流出	不良品が出荷された	抜取検査をすり抜けた	抜取頻度がロット数に不足
流出	判定がばらついた	合否判定が目視だった	限界ゲージが未整備

出典欄には「金型管理標準 §2.1」「QC工程表 §3」のように、AIが引用した社内資料の箇所が入ります。

この帳票の3つの前提

- Excel(.xlsx)で出力します。PDFではないので、列の追加やロゴの差し替え、取引先指定フォーマットへの貼り替えがそのままできます。
- 未確定の欄は空欄で出します。効果確認(D6)と承認(D8)はその時点で確定していません。AIに埋めさせません。
- 登録なしで実物を確認できます。記入済みイメージのサンプル帳票を whytrace.com から直接ダウンロードできます。

青の枠は分析から自動転記される欄、破線の枠は記入用の空欄です。効果確認と承認を自動で埋めないのは意図した設計です。まだ起きていないことを書いた報告書は、審査でも顧客対応でも使えません。

対応フレームワーク 7種 — 現場の作法に合わせる

05 同じ事象でも、業種によって問われる観点が違います。分析の枠を選べます。

枠組み	観点	要因の分類	主な使いどころ
汎用	5	人的／設備・物的／環境／管理／その他	枠組みを決めていない、最初の1件
4M	4	Man・Machine・Material・Method	製造の品質不良。最も一般的
5M1E	6	4M + Measurement・Environment	測定・環境が絡む工程
SHELL	5	Software・Hardware・Environment・Liveware(本人／他者)	医療インシデント、ヒューマンファクター
4P	4	Policies・Procedures・People・Plant	安全管理体制、規程・手順の不備
SRE	5	Detection・Response・Recovery・Prevention・Process	システム障害のポストモータム
カスタム	任意	自社の分類を定義して使用	社内様式が既に決まっている場合

どの枠を選ぶか — 迷ったときの判断

この分析で問われるのは何ですか？

社内様式(分類)が既に決まっている

カスタム

製造の品質不良。人・機械・材料・方法で切りたい

4M

測定のばらつきや温湿度・清浄度が絡む

5M1E

人の確認・判断の失敗。医療インシデント

SHELL

規程・手順・教育・管理体制の側の不備

4P

システム障害。検知から復旧を振り返る

SRE

まだ決めていない。まず1件やってみたい

汎用

枠組みは、あとから変えられます

- 途中で切り替えられます。汎用で始めて4Mに変えても、書いた要因は引き継がれます。最初の選択で悩む必要はありません。
- 抜けている観点が分かります。まだ要因が入っていない観点をAIが指摘します。「材料は本当に無関係か」と問い直せます。
- 1つの事象に複数の枠を当てられます。4Mと4Pの両方で見ると、設備の問題と管理の問題が分離できます。

観点の数は「掘る深さ」ではなく「切り口の数」です。最初の1件は汎用か4Mから始めるのが実務的です。

業種別の当てはめ — 何を、どこへ出すか

06 分析は提出先が決まっています。出す先から逆算して枠組みと機能を選んでください。

製

製造業

4M / 5M1E

典型的な事象 寸法・外観の不良が顧客まで流出した。工程内不良率が突然上がった。
出す先 顧客の品質保証部門／IATF・ISO の審査員
求められる形 8D または是正処置報告書。発生と流出を分けた原因分析が必須。
よく使う機能 対話型FTA(2系統)／8D帳票出力／QC工程表のグラウンディング
最初の1件 再発が一番痛い1工程を選び、直近の不適合1件を入れる。

医

医療・介護

SHELL

典型的な事象 与薬・転倒・患者誤認のインシデントおよびヒヤリハット。
出す先 医療安全管理委員会／医療機能評価
求められる形 個人の責任ではなくシステム要因への分解。SHELLの5観点が合います。
よく使う機能 SHELL分析／マニュアル・手順書のグラウンディング／対策の期限管理
最初の1件 過去に委員会へ報告した1件を、SHELLで書き直してみる。

建

建設業

4P / 汎用

典型的な事象 墜落・はさまれのヒヤリハット。是正指摘への回答。
出す先 元請の安全担当／安全衛生協議会
求められる形 現場単位での収集と、他現場への水平展開の記録。
よく使う機能 現場ごとのQRポイント／匿名報告／水平展開の記録／写真添付
最初の1件 1現場だけQRを貼り、2週間ヒヤリハットを集めて件数を見る。

IT

IT / SRE

SRE

典型的な事象 サービス停止・性能劣化。検知から復旧までに時間がかかった。
出す先 社内のポストモーテム／顧客への障害報告
求められる形 時系列と、検知・対応・復旧・予防・プロセスの各段の振り返り。
よく使う機能 SRE分析／ランブックのグラウンディング／再発事象のダッシュボード
最初の1件 直近のポストモーテム1件を入れ、予防・プロセスの抜けを見る。

共通 01

提出先の様式に合わせる

出力は Excel。顧客指定のフォーマットや社内様式への貼り替えがそのままできます。

共通 02

報告する人にアカウントを配らない

QR報告はログイン不要。作業者や協業会社にアカウントを配る運用が要りません。

共通 03

1工程・1現場から始める

全社導入を待たず1工程だけで試せます。無料プランのままで1件目が回ります。

業種はプランや機能を分けていません。上の割り当ては「よく選ばれる組み合わせ」で、固定ではありません。どのプランでも7種すべてが使えます。

報告 → 分析 → 改善 → 蓄積。数分で回る

07 導入に数ヶ月かけません。アカウントを作れば、その日から1件目を回せます。

01 報告する

QRで30秒

設備や場所ごとにQRコードを貼ります。作業者はスキャンして報告するだけ。アプリのインストールもログインも不要です。

02 分析する

AIと対話する

報告からそのまま分析へ。AIが初版を作り、担当者は掘り下げたい枝を指示します。社内資料が根拠として引用されます。

03 改善する

対策を追跡する

是正処置を担当者・期限付きで登録。完了率と期限超過がダッシュボードに出ます。やりっぱなしを防ぎます。

04 蓄積する

ナレッジになる

分析・対策・資料がナレッジベースに残ります。次の分析でAIが引き当て、使うほど精度が上がります。

対策管理ダッシュボード(イメージ) — 誰の何が、いつ期限か

是正処置	担当	期限	状態	元の分析
パンチ交換基準を標準に追記	佐藤	09-30	対応中	穴径不良
点検表に摩耗量の記録欄を追加	田中	09-12	完了	穴径不良
限界ゲージを整備し目視判定を廃止	鈴木	08-29	期限超過	穴径不良
同型金型を使う3ラインへ水平展開	鈴木	10-15	対応中	穴径不良

対策は分析から自動で起票されます。担当者と期限を入れるだけで完了率と期限超過が集計されます。月次の会議で「あの対策はどうなったか」を探す時間が要りません。

管理者が見る画面と、権限

- 分析ダッシュボード／再発している事象、原因の傾向、月次の件数推移
- AIインサイト(Proプラン)／傾向の要約と、まだ手を打っていない領域の指摘
- CSV出力／既存の社内集計や月報にそのまま流し込めます
- 4段階の権限／オーナー・管理者・編集者・閲覧者
- 組織単位で分離／データベース側(行レベルセキュリティ)で他組織のデータに触れない構成
- QR報告は匿名可／作業者にアカウントを配る必要がありません
- 日本語・英語に対応／画面と出力帳票の両方

1件目は、その日のうちに回せます。QRコードの発行から報告・分析・帳票出力までがひと続きになっているので、既存の様式を作り直したり、社内システムと繋いだりする作業は要りません。まず1つの工程・1つのラインだけで試して、合うと判断してから広げてください。

料金と、次のステップ

08 無料で始められます。クレジットカードの登録は不要です。

	Free	Starter	Pro
月額(税込)	¥0	¥1,980 / 月	¥2,980 / 月
年払い(20%お得)	—	¥1,580 / 月	¥2,380 / 月
QRポイント	2箇所	5箇所	15箇所
インシデント報告 / 月	30件	100件	無制限
AI分析 / 月	10回	30回	無制限
AIチャット / 月	30回	300回	無制限
資料アップロード / 月	5件	50件	無制限
8D・是正処置レポート出力	○	○	○
CSV出力 / 月	1回	無制限	無制限
AIインサイト付きダッシュボード	—	—	○
データ保持	3ヶ月	12ヶ月	無制限
無料トライアル	—	30日間	30日間

まずは無料で、対話型FTAを体験してください。

クレジットカード不要。Google / メールマジックリンクで、すぐに始められます。
登録せずに触ってみたい場合は、トップページの「デモを試す」からワンクリックで体験できます。

whytrace.com

お問い合わせ: whytrace.com/contact

料金・上限は本資料作成時点のものです。最新の内容は whytrace.com/pricing をご確認ください。請求書払いをご希望の場合はお問い合わせください。プランの変更・解約はいつでも可能で、解約後も請求期間の終了までご利用いただけます。